

2024年3月11日

各位

株式会社 北海道銀行

**「健康経営優良法人 2024 大規模法人部門（ホワイト500）」の認定について**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、2024年3月11日に経済産業省より健康経営の顕彰制度「健康経営優良法人 2024 大規模法人部門（ホワイト500）」の認定を受けましたのでお知らせいたします。当行は、7年連続の認定となります。

「健康経営優良法人」とは、「日本再興戦略会議 2016」に基づき経済産業省によって創設した認定制度であり、運営機関である日本健康会議と共同で、優良な健康経営を実践している法人を認定・公表するためにスタートしたものです。優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」することによって、従業員や求職者、関係企業などから「職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境の整備を目的としています。

当行では、2017年12月4日付で「健康経営宣言」を制定、2020年7月10日付で改訂し、頭取を健康管理責任者として、職員の健康保持・増進に繋げる諸施策に取り組んでおります。今後も引き続き、企業の持続的な成長の実現には職員の心身の健康が不可欠であるとの見地に立ち、健康保険組合と連携して、職員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮できる職場環境を整備し、組織全体の更なる活性化の実現を目指してまいります。

**該当する SDGs の目標**

SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。



以上

&lt;本件に関するお問い合わせ先&gt;

北海道銀行 人事部 小野寺・中野 TEL(011)231-3022  
広報CSR室 坂野・住吉 TEL(011)233-1005

<参考>

1. 健康経営宣言の内容

～ 健康経営宣言 ～

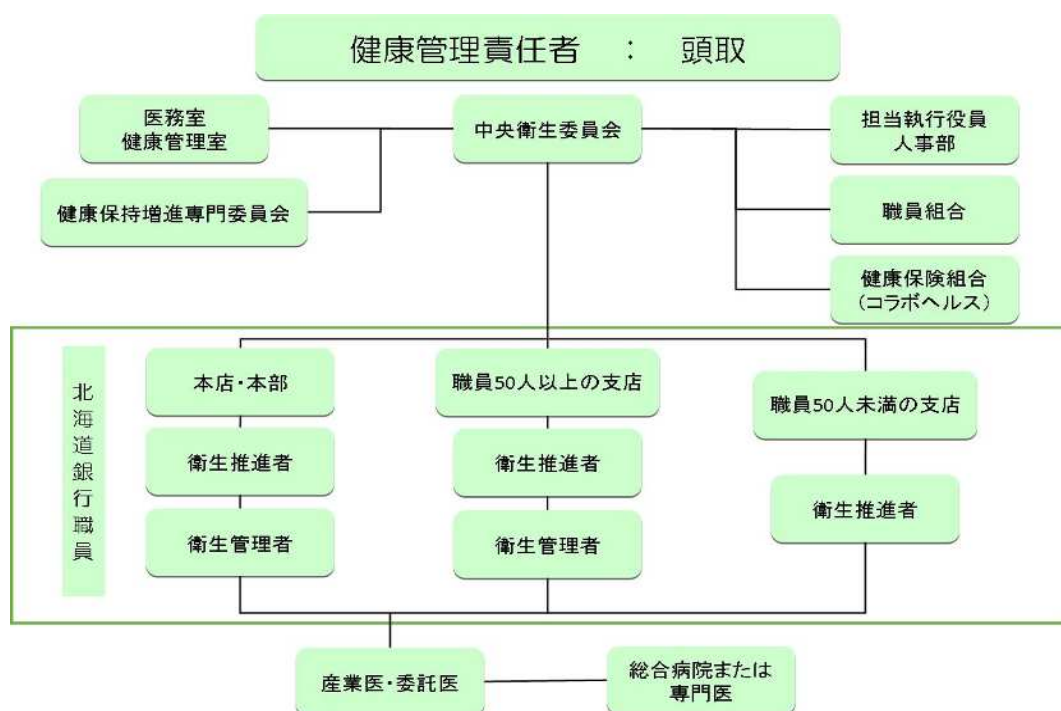
北海道銀行は、職員の心身の健康保持・増進が企業活力の維持・発展のためには欠かせないものと考え、銀行・健康保険組合・産業医・職員組合そして職員が一体となって健康づくりを推進します。また、健全な金融機能等の提供により、元気あふれる地域づくりにも貢献してまいります。

2017年12月4日 制定  
2020年7月10日 改訂  
株式会社北海道銀行  
頭取 兼間 祐二

2. 推進体制

頭取を健康管理責任者とし、銀行・健康保険組合・産業医・職員組合そして職員が一体となって、様々な重点施策等に積極的に取り組みます。

<体制図>



3. 主な取組内容

(1) 職場での取り組み

- ・ ウォーキングキャンペーンの実施
- ・ 体育奨励補助制度等に基づく職員の運動による健康増進活動の奨励
- ・ 敷地内全面禁煙

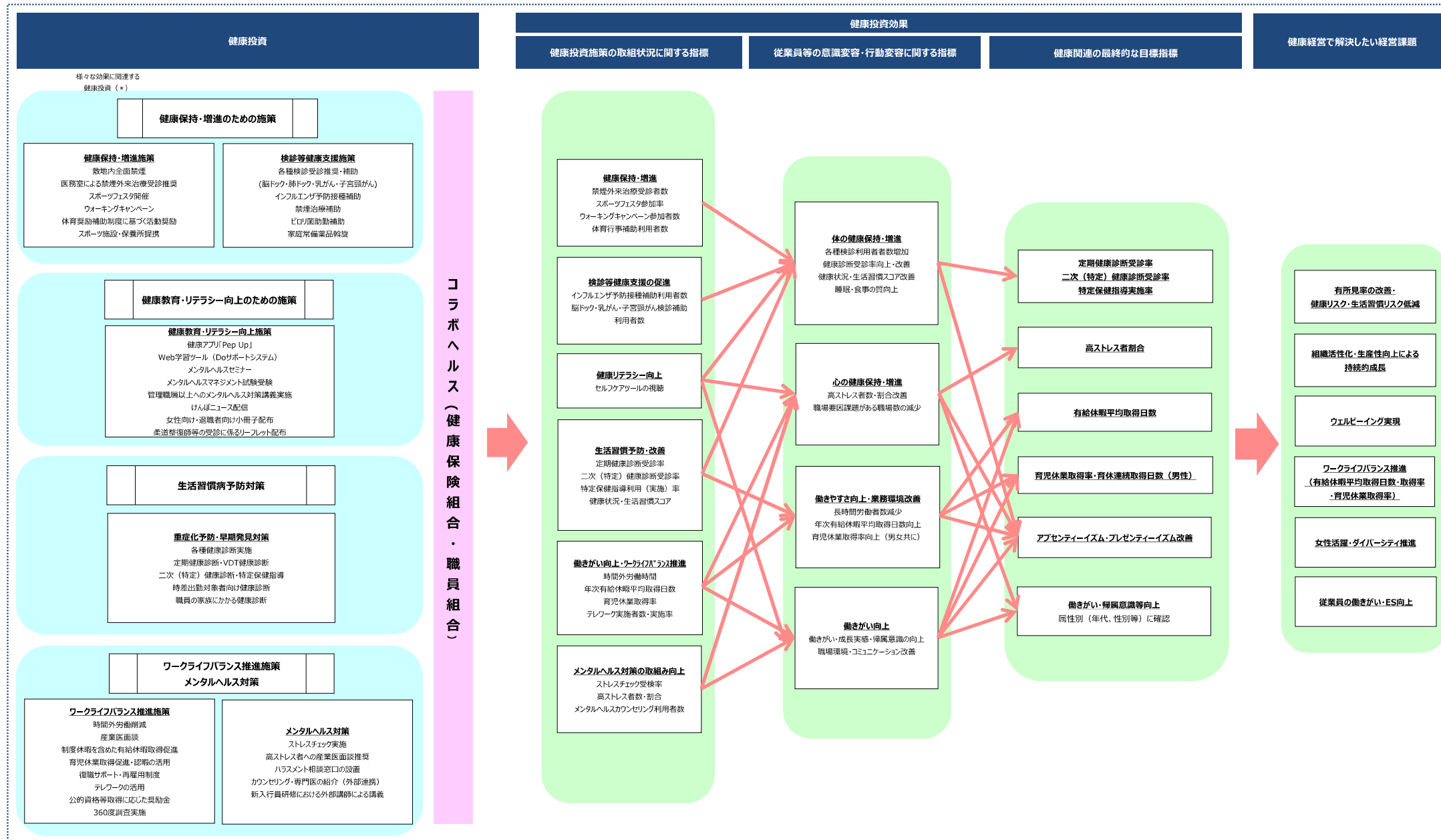
(2) からだの健康に関する取り組み

- ・ 定期健康診断の完全実施と二次健康診断受診率向上
- ・ 脳ドック、肺ドック、乳がん・子宮頸がん検診の受診推奨
- ・ 禁煙外来治療の受診推奨

(3) 心の健康に関する取り組み

- ・ ストレスチェック結果に基づく、職場改善活動の実施
- ・ 高ストレス者への産業医面談勧奨
- ・ メンタルヘルスセミナーの実施
- ・ 管理職層以上へのメンタルヘルス対策の講義実施

# 【戦略マップ】



(\*) 基本的に「健康投資」と「健康投資効果」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資効果」に「健康投資」が対応している場合があるため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」として示している。



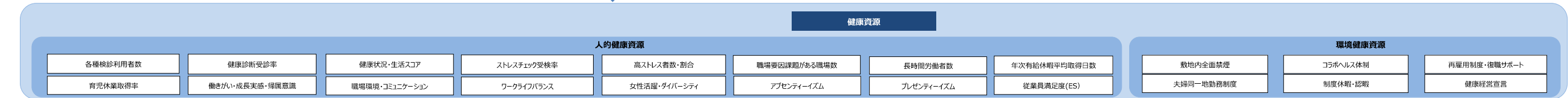
**社会的価値**  
健全な金融機能等の提供による  
お客様の様々な課題解決のサポート・活気あふれる地域づくり・QOL向上

**企業価値**  
企業活力の維持・発展による  
生産性向上・ブランド価値向上・従業員の働きがい・帰属意識向上

株式会社北海道銀行 健康経営宣言



3 すべての人に 健康と福祉を	5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も
-----------------------	------------------------	---------------------





# 健康経営に関する各種指標



1. 健康経営に関する各種指標は、「戦略マップ」の健康投資効果における「取組状況に関する指標」、「健康関連の最終的な目標指標」等に関連する主な指標を表示しています。
2. 各種指標の達成を目指すことで、様々な角度から「職員のフィジカル・メンタル面等の改善・向上」を図り、最終的に「働きがい・生産性向上」に繋げていきます。 ※ 直近年度における太字の項目は目標比達成となった項目

各種指標	目標（2022年度）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
<b>◆ 生活習慣病予防</b>					
① 定期健康診断受診率	100%	100.0%	100.0%	100.0%	<b>100.0%</b>
② 二次健康診断（精密検査）受診率	90%以上	75.3%	78.0%	80.7%	<b>91.2%</b>
③ 特定健康診査実施率	90%以上	90.2%	90.2%	90.6%	<b>100.0%</b>
④ 特定保健指導実施率	55%以上	40.0%	43.3%	53.2%	<b>60.6%</b>
⑤ 適正体重維持者率	65%以上	65.6%	64.5%	64.8%	64.9%
⑥ 喫煙習慣リスク	100%以上	107.0%	108.0%	108.0%	集計中
⑦ 運動習慣リスク		86.0%	92.0%	86.0%	//
⑧ 食事習慣リスク		129.0%	126.0%	126.0%	//
⑨ 飲酒習慣リスク		103.0%	101.0%	103.0%	//
⑩ 睡眠習慣リスク		104.0%	99.0%	102.0%	//
⑪ 平均睡眠時間（1週間）が6時間以上の者の割合		50%以上	45.2%	48.3%	47.9%
<b>◆ 健康保持・増進</b>					
⑫ ウォーキングキャンペーン参加者数	1,000人以上	546人	1,135人	1,191人	<b>1,115人</b>
⑬ 肥満リスク	100%以上	120.0%	118.0%	121.0%	集計中
⑭ 血圧リスク		82.0%	94.0%	87.0%	//
⑮ 肝機能リスク		102.0%	103.0%	99.0%	//
⑯ 脂質リスク		127.0%	134.0%	132.0%	//
⑰ 血糖リスク		118.0%	118.0%	119.0%	//
⑱ 喫煙率	20%未満	26.3%	23.1%	21.7%	21.6%
<b>◆ メンタルヘルス対策</b>					
⑲ ストレスチェック受検率	90%以上	99.1%	99.7%	99.8%	<b>99.9%</b>
⑳ 高ストレス者割合	5%未満	6.6%	6.0%	6.4%	6.2%
<b>◆ ワークライフバランス推進</b>					
㉑ 平均月間法定外労働時間（一人あたり）	7時間未満	5時間23分	6時間15分	5時間19分	<b>5時間06分</b>
㉒ 年次有給休暇平均取得日数（一人あたり）	14日以上	12.4日	13.1日	13.7日	<b>14.7日</b>
㉓ 育児休業取得率（女性）	100%	97.5%	100.0%	100.0%	<b>100.0%</b>
㉔ 育児休業取得率（男性）	100%	83.7%	95.7%	100.0%	<b>100.0%</b>
㉕ 男性育児休業連続取得日数	4日	2.9日	3.0日	3.2日	<b>4.2日</b>
<b>◆ 健康リテラシー向上、パフォーマンス指標 他</b>					
㉖ 働きがい（ワークエンゲージメント）の状況	7点以上	—	7.2点	7.2点	<b>7.1点</b>
㉗ 仕事のパフォーマンス状況（プレゼンティーズム）	6点以上	—	6.3点	6.3点	<b>6.3点</b>
㉖・㉗の測定人数	—	3,209人	3,108人	3,028人	2,918人
㉖・㉗の回答率	—	99.10%	99.70%	99.80%	99.9%
㉘ 仕事のパフォーマンス状況（アブセンティーズム）	3日以内	—	2.4日	2.6日	<b>2.7日</b>
㉙ 子宮頸がん検診補助利用者数（女性の健康課題に関する施策）	—	34人	31人	29人	32人
㉚ 健康ポータルサイト「Pep Up」登録率	100%	—	—	—	2023年度導入
㉛ 業務上災害発生件数	—	11件	19件	9件	14件
㉜ 通勤災害発生件数	—	14件	26件	12件	10件
㉝ 平均勤続年数	—	15.4年	15.5年	15.6年	15.8年
㉞ 就職企業人気ランキング（北海道地区）	—	18位	6位	4位	3位

### ● 各種指標に関する補足について

#### <生活習慣病予防>

- ⑥～⑩の対象者：子会社の北海道銀行健康保険組合被保険者を含む
- ⑥～⑩は全健康保険組合平均を100%とした場合の数値（数値が高いほど良好）

#### <健康保持・増進>

- ⑫は北海道銀行職員組合との共催（協賛：北海道銀行健康保険組合）
- ⑬～⑰の対象者：子会社の北海道銀行健康保険組合被保険者を含む
- ⑬～⑰は全健康保険組合平均を100%とした場合の数値（数値が高いほど良好）

#### <ワークライフバランス推進>

- ㉑の対象者：管理監督者を除く
- ㉓は取得率の計算上 207.7%、㉔は同様に136.1%となる
- ㉕の最終目標（2024年度）は6日以上

#### <健康リテラシー向上 他>

- ㉖はストレスチェック実施時に採用しているワークエンゲージメントツールを使用（10点満点）。
- ㉗は東大式（一部修正）を用いた調査。全社平均を10点評価（満点）とした時の平均値。
- ㉘は一人あたりの年間平均欠勤日数
- ㉚の投資額：約14百万円（イニシャル+5年間のランニング分）
- ㉞は㈱マイナビと㈱日本経済新聞社が共同で実施する「就職企業人気ランキング（地域別）」の実績

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

